

キリンビバレッジ 2018年12月販売概況レポート

1. キリンビバレッジ社

カテゴリ	前年比
清涼飲料合計	97%

- ・清涼飲料市場全体は単月前年比 100%となった。
- ・当社は単月前年比 97%で着地。
- ・生茶は、量販チャンネルが前年を上回り好調に推移したが、ホット商品が伸び悩み単月前年比 99%
- ・午後の紅茶は、主力4品（ストレート、ミルク、レモン、おいしい無糖）の500ml ペットボトルが好調に推移した。一方でホット商品のマイナスにより、単月前年比 99%
- ・ファイアは、挽きたて微糖がほぼ前年並みで推移したものの、CVS チャンネルでのアイテム数減少に加え、量販チャンネルにおいても販売が伸び悩み、単月前年比 84%
- ・健康・スポーツ飲料は、「アミノサプリ C」、「キリンラブズスポーツ」、「iMUSE レモンと乳酸菌」が寄与し、単月前年比 116%
- ・炭酸飲料は4月のリニューアル以降好調に推移している「キリンレモン」と、6月に発売した「ニューダースパークリング/スパークリングレモン」が寄与し、単月前年比 103%

以上